

地理

# 編集 基本方針

「新しい時代を担う主権者を育てる」を基本理念とし、  
 18歳選挙権をみすえて、  
 生徒が「社会的な見方・考え方」を働かせた学習を通して  
 「主体的・対話的で深い学び」を実現し、  
 新しい時代の国家・社会の形成者として必要な  
 「公民としての資質・能力の基礎」を育成することを願ひ、  
 本教科書を編集しました。

基本方針

# 1

## 質の高い 学びや授業を 保証する

確実な知識・技能の定着

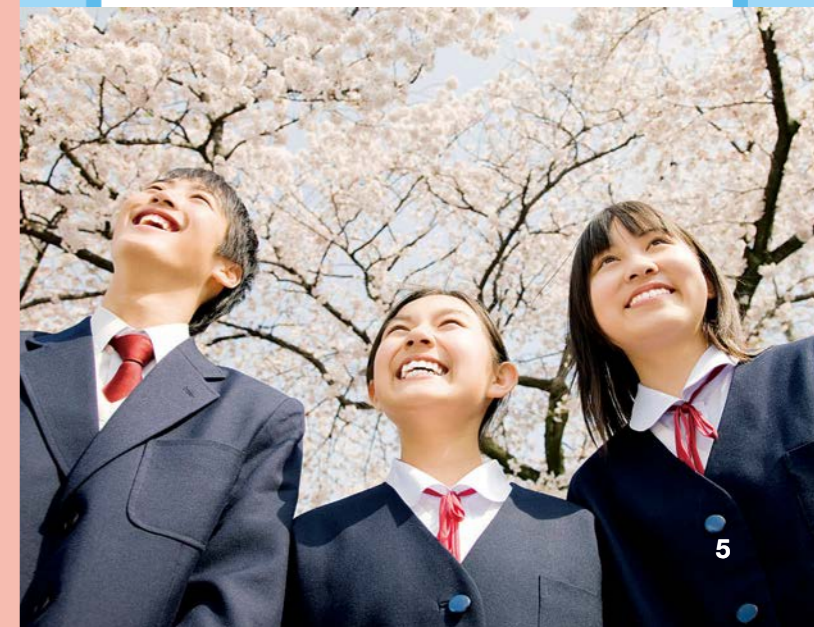


基本方針

# 3

## 学びを 日々の生活や 社会に活かす

学びに向かう力・  
人間性等を養う



基本方針

# 2

## 生徒自らが 学びに 動き出す

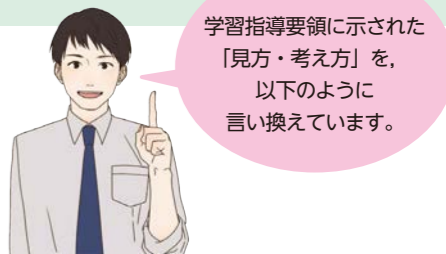
主体的・対話的で  
深い学びを通じた  
思考力・判断力・表現力等の育成



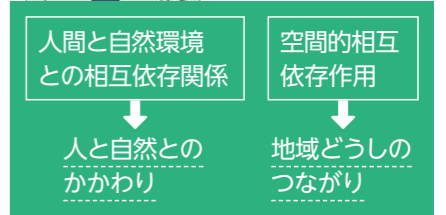


# まず地理の面白さを感じることから 地理的な見方・考え方を働かせる工夫

教科書の冒頭で、生徒に身近な「いちご」にスポットを当てながら、農村地域と都市地域の自然環境・人文環境をイラストで表現しました。このイラストを、1位置や分布、2場所、3人と自然とのかわり、4地域どうしのつながり、5地域という五つの「地理的な見方・考え方」を通して読み取っていきます。親しみやすいイラストを通して「見方・考え方」を捉えることで、本文ページの各見開きで「見方・考え方」を働かせながら学習を進めることができます。



学習指導要領に示された「見方・考え方」を、以下のように言い換えています。



下の問いを考えるためのヒント

それぞれの「見方・考え方」を働かせて考える問い

様々な地理的事象を盛り込んだ、見れば見るほど楽しいイラスト

五つの「見方・考え方」の概念についての解説

## 巻頭口絵(地理的な見方・考え方の解説)

新学習指導要領で示された、五つの「地理的な見方・考え方」について分かりやすく解説しています。

見開き下部にある1~5の五つの「地理的な見方・考え方」の解説をもとに、イラストを見ながら問いの答えを考えることで、自然に「地理的な見方・考え方」を捉えることができます。



## 本文ページの各見開き

五つの「地理的な見方・考え方」のうち一つを提示しています。各見開きでは、学習課題とともに提示しているそれぞれの「地理的な見方・考え方」にもとづいて、本文を記述し、図版を掲載しています。

**注目!**  
各見開きの学習の際に「地理的な見方・考え方」を繰り返して意識することで、生徒が「見方・考え方」を自ら働かせることができるようになります。



### 位置や分布を提示した見開き ↓P8

### 人と自然とのかわりを提示した見開き ↓P102

### 地域どうしのつながりを提示した見開き ↓P210



# 何を学び、どう深めるか 授業や生徒の思考の流れに沿った構成

本文は原則1授業時間を見開き2ページとし、この1時間で何を学ぶのか、どのようなことに着目して学習を進めるのかを「学習課題」「見方・考え方」で明確に示しました。また、「見方・考え方」を働かせながら考える問いである「深めよう」を示したほか、右ページの側注欄には学習課題に対応した「確認」を設け、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を企図した学習活動を提示しました。

1

## 導入資料

見開きの学習内容の導入になる資料と、それに関する問いかけを設けています。

関心と意欲を引き出す

2



この見開きで何を学ぶかを示します。この課題を考えながら学習を進めていきます。

学習に見通しをもたせる

注目!



## 見方・考え方

学習課題の解決に向けて手がかりになる主な見方・考え方の例を示しています。 →本書 P.6-7

知識を活用して、課題を考えたり、解決したりできる紙面になっています。



## 資料活用

資料を用いた活動を示すことで、必要な情報の読み取りなどの技能を高めることができるコーナーです。 →本書 P.16

## 地理 +α

学習内容を掘り下げて、学習内容の理解を深めていくことができるコラムです。 →本書 P.17

3

## 本文・図版

十分な文字量を確保し、平易な表現を用いて、生徒の読み取りを支援しました。

丁寧な記述で学習を助ける

注目!



## 深めよう

学習課題の理解を深めるため、見方・考え方を働かせる問いを示しています。 →本書 P.14

4



## 確認

学習課題に対応し、学習内容の理解を確かにする問いを示しています。

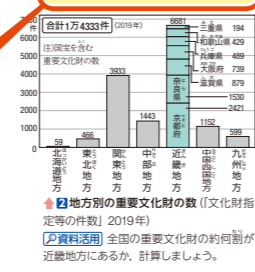
1時間の学習をふり返る



**見方・考え方** (地理・つなげ方)

歴史的都市である京都や奈良には、どのような特色があるのでしょうか。

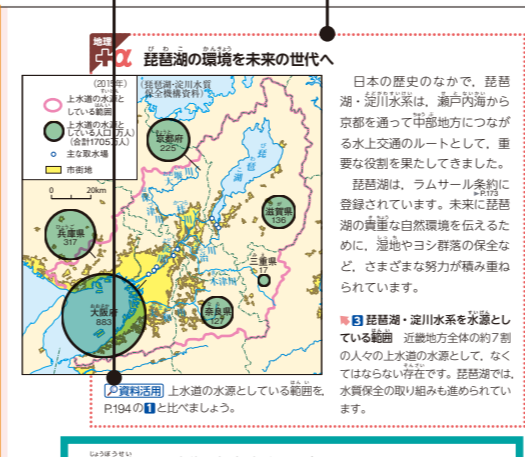
かつて首都であった歴史が、地域の景観や文化にどのように影響しているのかに着目しましょう。



## 2 現在にいきづく歴史的都市の特色

**豊かな歴史に支えられた近畿地方** 古くから日本の中心地として発展した近畿地方には、奈良の平城京や京都の平安京など、各地に都(首都)がおかれました。京都は、首都を意味する「京」と「都」が都市名になりました。「近畿」という名称も、首都のまわりの地域を意味する畿内という言葉がもとになっています。京都・大阪は「県」ではなく、中心地の意味をもつ「府」とよばれています。歴史の長い近畿地方には、貴重な文化財が集中しています。京都や奈良には古くから続く寺院や神社も多く、その一部は世界文化遺産に登録されています。

**千年の歴史をもつ京都** 京都は、日本の歴史のなかで、最も長いあいだ首都であった都市です。およそ1200年前につくられた平安京から発展しました。東西南北にのびた碁盤の目のようにまっすぐな道路や、三条通、四条通といった道路の名前は、



**案坊制という古代の都市計画のなごりです。** 長い歴史のなかで日本の伝統文化はくままれてきたことも、京都の特色の一つです。茶道や華道には、京都に本部をおく流派が多くみられます。日本料理(和食)や和菓子、織物の伝統を守り、未来に伝えようとしている店舗や業者も少なくありません。和食は、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。

京都の周辺では、都市に住む住民のために野菜を育てる近郊農業が盛んになりました。そこで守り伝えられた品種は、京野菜とよばれています。京都の南にある宇治を中心とした地域では製茶業が盛んとなり、現在では宇治茶の名前で世界的に親しまれています。

**日本の歴史のふるさと、奈良** 奈良には、東大寺、興福寺、春日大社など、およそ1300年前の平城京の時代から続いている寺院や神社があります。平城京が都でなくなった後も、寺院や神社と周辺の町は残り、宗教・文化の中心地の一つとして北にある京都に対して南都とよばれ、現在の奈良へと発展してきました。平城京の中心であった平城宮跡では、発掘調査や建物の復元が進み、かつての景観が想像できるように整備されています。



お茶をたてる茶道家(2016年、京都市上京区)



日本料理(和食)の食育授業(2019年、京都市中京区)

**深めよう**

各地から観光客が集まる京都や奈良などの伝統行事には、どのようなものがあるのでしょうか。



約300年ぶりとなる興福寺中金堂の再建を祝う法要(2018年、奈良県奈良市)

**確認**

京都・奈良の歴史的都市としての特色をまとめましょう。

## 歴史 連携コーナー

小学校の学習や歴史・公民とのつながりを示しています。 →本書 P.34



資料の活用や、「深めよう」の問いから深く学んでいけそうだね。

## デジタルマーク

このマークのついた教材は、弊社ウェブサイトにあるデジタル資料で、学習を深めることができます。 →本書 P.30

## インデックス

学習内容を全体のなか位置づけて学習を進めることができます。



# テーマを通して「知る・考える」 世界や日本の諸事象の学習を見通せる構成

教科書全体にわたって世界の各州・日本の各地方の**地域的特色を確実に捉えられる構成**にしています。2編2章(世界の諸地域)・3編3章(日本の諸地域)では、①導入で生徒の興味・関心を引き付け、②大観で州・地方の概要をつかみ、そのうえで各州の「主題」や各地方の「考察の仕方」をもとに③主題学習・動態地誌的学習を進め、④ふりかえりまでの活動を通して生徒が「主体的・対話的で深い学び」を実現できます。

## 1 導入ページ

### 州・地方を視覚的にとらえます

州・地方の様々な地理的事象を読み取ることができる写真を掲載し、左上には、**主題**や**考察の仕方**に深くかかわる**写真**を大きく掲載しています。学習の最初に生徒の興味・関心を引き付け、州・地方を視覚的に捉えることができます。

② **写真**を見て考える① **クイズ**を設定し、その州・地方の**主題**や**考察の仕方**に焦点化できるよう工夫しています。

→本書 P.14 クイズ

## 2 大観ページ

### 州・地方を大観します

州・地方の自然環境と人文環境を大観して、州・地方の地形・気候、人口、産業、交通・通信、歴史的背景などをおおまかにつかむことができます。

②の末尾に、先生が**主題**を提示したり、生徒が**考察の仕方**を見出したりする形で、その州・地方の③**追究するテーマ**を提示します。

→本書 P.14 追究するテーマ

5 関東地方 — 交通・通信をテーマに —

① 東京2020オリンピック・パラリンピックの開催式・閉会式が行われる予定の新国立競技場(2019年、東京都新宿区・渋谷区)

② クイズ 「東京2020オリンピック・パラリンピック」に参加する国や地域の数はどれくらいでしょうか。また、どの州からいちばん多く参加するのでしょうか。

③ 白砂丘を乗りこんで建設された最長橋と工業地帯(2010年、茨城県鹿嶋市・神埼町)

④ 山手線と野田新幹線

⑤ 関東地方の交通網(上:2016年、千葉県京田子市・中:2017年、東京都荒川区・下:2016年、東京都新宿区)

⑥ 自給率を高めるために花の栽培(2016年、千葉県南房総市)

⑦ 関東地方に広がる関東大都市圏(2018年) 東京の中心部から西を見ている。真ん中のビル群は、東京の副都心の新宿です。

⑧ 河原段丘の発達した沼田市(2017年、群馬県) 沼田駅と市街地との高低差は約70mもあります。

⑨ 中禅寺湖と男体山(2015年、栃木県日光市) 関東地方を代表する観光地の日光にあります。

220 第3編第3章 日本の諸地域

↑P.220-221

注目!

自然環境・人文環境にかかわる写真をバランスよく掲載しています。

全州・全地方で掲載している図版  
 ① 土地利用図  
 ② 州・地方ごとのグラフ

①～⑤は全州・全地方で統一した体裁・配置・サイズで掲載

州・地方内での対比、他の州・地方との比較が可能です。

全州・全地方で掲載している図版  
 ③ 地形地図 ④ 人口密度地図  
 ⑤ 雨温図

地図や雨温図から州・地方を大観する手がかりになるよう、資料活用コーナーを設定しています。

① 関東地方の自然環境と人々のかかわり

低地と台地からなる関東平野 関東地方は、7地方なかでも最も低地ですが、日本最大の関東平野が広がっています。その周辺には、西側に関東山地、北側に越後山脈などがあり、利根川や荒川などの大きな川が流れ出しています。関東平野の広い範囲から水を集める利根川は、日本で最も流域面積が広い川です。関東平野のうち、海沿いの地域は、内陸部から川が運んできた土砂が堆積してつくられた低地です。少し内陸部に入ると、富士山や浅間山などから噴出した火山灰がもってきた赤土(関東ローム)におおわれた台地が広がっています。広い平野のある関東地方では、農業が盛んです。水が得やすい低地には水田が、水が得にくい台地には畑が広がっていますが、南部を中心に広い範囲で都市化が進み、その多くが市街地や工業用地になっています。また、東京湾沿岸には、埋立地の直線的な人工海岸が続いています。このように、関東地方では、ほかの地方と比べて、人々の活動が自然環境に大きな影響をあたえています。

現在、関東地方には4000万人以上の人々が住んでいます。東京23区を中心に、さいたま市、千葉市、横浜市、川崎市、相模原市といった政令指定都市や、郊外の衛星都市が広がる東京大都市圏が広がっています。この地域は、日本でも最も人口が集中して、日本の政治・経済・文化の中心地になっています。また、日本の首都である東京があることから、この地域を「首都圏」ともよびます。

乾燥した冬と暑い夏 関東地方は、大部分が太平洋側の気象に答えます。冬には、日本海側に雪を降らせ、夏には、湿度が高くなってむし暑くなり、山沿いを中心に雷雨が発生しやすくなります。熊谷や館林などの内陸部では、非常に高い気温が観測されることがあります。また、南部の太平洋沿岸では、波浪である日本海(黒潮)の影響で、冬でも温暖な気候になっています。

関東地方では、局地的な集中豪雨(ゲリラ豪雨)がしばしば発生します。また、東京・横浜などでは、都市の中心部の気温が郊外より高くなる、ヒートアイランド現象がみられます。

222 第3編第3章 日本の諸地域

↑P.222-223

注目!



2編2章(世界の諸地域)で追究していく主題・3編3章(日本の諸地域)で用いる考察の仕方に加えて、各州・各地方で取り上げる**地球的課題・地域の課題(社会的課題)**を、各章の扉ページに一覧表の形で示しました。

州名	アジア州	ヨーロッパ州	アフリカ州
テーマ	人口や経済発展	国境をこえた統合	自立のための開発と国際協力
地球的課題	経済発展の地域格差や都市問題	統合のかけで進む分断の動き	モノカルチャー経済からの自立
州名	北アメリカ州	南アメリカ州	オセアニア州
テーマ	世界に影響をあたえる産業	開発と環境保全	多文化が共生する社会
地球的課題	大量生産・大量消費の生活スタイル	熱帯雨林の伐採による環境破壊	多様な民族の共生

↑ P.43 この教科書で設定している六つの州のテーマと地球的課題

↑ P.43

地方名	九州地方	中国・四国地方	近畿地方	中部地方
テーマ	自然環境	人口や都市・村落	歴史的背景	産業
社会的課題	環境問題の克服	過疎地域の活性化	歴史的遺産と観光の両立	産業の競争力の維持
地方名	関東地方	東北地方	北海道地方	
テーマ	交通・通信	持続可能な社会づくり	自然環境	
社会的課題	過密問題の解決	震災復興と地域づくり	自然環境との共生	

↑ P.163 この教科書で設定している七つの地方のテーマと社会的課題

↑ P.163

州・地方で設定しているテーマ・地球的課題・地域の課題(社会的課題)の一覧

→本書 P.35 教科書内の連携

これらのテーマや課題に沿って③・④を進めていく構成になっています。



3

主題学習・  
動態地誌的学習の  
ページ

地域的特色を追究し、学習を深めます

②で設定した主題や考察の仕方にもとづいて、見方・考え方を働かせながら学習を進めることで、州・地方の**地域的特色や課題を確実に理解**することができます。

③の各見開きには**見方・考え方を働かせながら考える**問いである**②深めよう**を設定しています。

※各州・各地方で8ページ設定しています(一部の州では4ページ)。

11 住宅が密集する地区(2018年、東京都北区)

12 荒川周辺の再開発地区とスーパー・緑地・排水機場(2014年、東京都立)が密集している地域の防災拠点とするために整備されました。スーパー・緑地

13 戸川区・江東区 この再開発地区は、建物は、幅が非常に広く、川の治水に強い。再開発地区

14 人口が集中すると、防災面でもいろいろな課題があるんだね。それをどのように解決していけばよいのだろう。

15 東京都の現状の水位の表示(2017年、東京都江戸川区)

16 人口が集中すると、防災面でもいろいろな課題があるんだね。それをどのように解決していけばよいのだろう。

17 深めよう 東京への一層のつり上げ、いかに考えよう。

18 深めよう 深めよう

19 深めよう 深めよう

20 深めよう 深めよう

21 深めよう 深めよう

22 深めよう 深めよう

23 深めよう 深めよう

24 深めよう 深めよう

25 深めよう 深めよう

26 深めよう 深めよう

27 深めよう 深めよう

28 深めよう 深めよう

29 深めよう 深めよう

30 深めよう 深めよう

31 深めよう 深めよう

32 深めよう 深めよう

33 深めよう 深めよう

34 深めよう 深めよう

35 深めよう 深めよう

36 深めよう 深めよう

37 深めよう 深めよう

38 深めよう 深めよう

39 深めよう 深めよう

40 深めよう 深めよう

41 深めよう 深めよう

42 深めよう 深めよう

43 深めよう 深めよう

44 深めよう 深めよう

45 深めよう 深めよう

46 深めよう 深めよう

47 深めよう 深めよう

48 深めよう 深めよう

49 深めよう 深めよう

50 深めよう 深めよう

51 深めよう 深めよう

52 深めよう 深めよう

53 深めよう 深めよう

54 深めよう 深めよう

55 深めよう 深めよう

56 深めよう 深めよう

57 深めよう 深めよう

58 深めよう 深めよう

59 深めよう 深めよう

60 深めよう 深めよう

61 深めよう 深めよう

62 深めよう 深めよう

63 深めよう 深めよう

64 深めよう 深めよう

65 深めよう 深めよう

66 深めよう 深めよう

67 深めよう 深めよう

68 深めよう 深めよう

69 深めよう 深めよう

70 深めよう 深めよう

71 深めよう 深めよう

72 深めよう 深めよう

73 深めよう 深めよう

74 深めよう 深めよう

75 深めよう 深めよう

76 深めよう 深めよう

77 深めよう 深めよう

78 深めよう 深めよう

79 深めよう 深めよう

80 深めよう 深めよう

81 深めよう 深めよう

82 深めよう 深めよう

83 深めよう 深めよう

84 深めよう 深めよう

85 深めよう 深めよう

86 深めよう 深めよう

87 深めよう 深めよう

88 深めよう 深めよう

89 深めよう 深めよう

90 深めよう 深めよう

91 深めよう 深めよう

92 深めよう 深めよう

93 深めよう 深めよう

94 深めよう 深めよう

95 深めよう 深めよう

96 深めよう 深めよう

97 深めよう 深めよう

98 深めよう 深めよう

99 深めよう 深めよう

100 深めよう 深めよう

↑ P.230-231

注目! ③の最後の見開きは、その州・地方にみられる**地球的課題・地域の課題(社会的課題)**を追究する内容になっています。

注目! 導入資料を**ダイナミック**に掲載している見開きもあり、楽しく学習を進めることができます。

4

ふりかえり  
ページ

学習を確実にし、掘り下げます

最後に**⑥〇〇州(地方)をふりかえる**の問いで知識を定着させ、**⑦州・地方のテーマに沿った主体的・対話的な活動**で学習を深めることができます。

右ページの下半分には**⑧アクティビティ**を設定しています。→本書 P.15 アクティビティ活動を通して学習内容の理解を深める**チャレンジ地理**を設定している州・地方もあります。→本書 P.15 チャレンジ地理

自由研究 オリンピック・パラリンピックからみる東京の変化

東京は、2020年にオリンピック・パラリンピックが開催されます。開催によって、東京はどのように変化するのでしょうか。

1 自由研究

2 自由研究

3 自由研究

4 自由研究

5 自由研究

6 自由研究

7 自由研究

8 自由研究

9 自由研究

10 自由研究

11 自由研究

12 自由研究

13 自由研究

14 自由研究

15 自由研究

16 自由研究

17 自由研究

18 自由研究

19 自由研究

20 自由研究

21 自由研究

22 自由研究

23 自由研究

24 自由研究

25 自由研究

26 自由研究

27 自由研究

28 自由研究

29 自由研究

30 自由研究

31 自由研究

32 自由研究

33 自由研究

34 自由研究

35 自由研究

36 自由研究

37 自由研究

38 自由研究

39 自由研究

40 自由研究

41 自由研究

42 自由研究

43 自由研究

44 自由研究

45 自由研究

46 自由研究

47 自由研究

48 自由研究

49 自由研究

50 自由研究

51 自由研究

52 自由研究

53 自由研究

54 自由研究

55 自由研究

56 自由研究

57 自由研究

58 自由研究

59 自由研究

60 自由研究

61 自由研究

62 自由研究

63 自由研究

64 自由研究

65 自由研究

66 自由研究

67 自由研究

68 自由研究

69 自由研究

70 自由研究

71 自由研究

72 自由研究

73 自由研究

74 自由研究

75 自由研究

76 自由研究

77 自由研究

78 自由研究

79 自由研究

80 自由研究

81 自由研究

82 自由研究

83 自由研究

84 自由研究

85 自由研究

86 自由研究

87 自由研究

88 自由研究

89 自由研究

90 自由研究

91 自由研究

92 自由研究

93 自由研究

94 自由研究

95 自由研究

96 自由研究

97 自由研究

98 自由研究

99 自由研究

100 自由研究

※供給時に、最新の状況に更新する予定です。

注目! 全州・全地方の**問いの答え**を教科書QRコンテンツとしてご用意しています。→本書 P.31

注目! 問いを各州・各地方の学習内容に沿って**カテゴリ分け**しているので、知識の整理に役立ちます。



# もっと知りたく、考えたくなる 主体的・対話的で深い学びの実現

主体的・対話的な学習を促す問いやコーナーを充実させているだけでなく、各見開きにある様々なコーナーによって、①～④の流れ(→本書P.10-13)の中で、**単元全体・教科書全体で「主体的・対話的で深い学び」を実現することができるようにしました。**

## 1 導入ページ

①には**クイズ**を設定し、その州で追究する主題やその地方で用いる考察の仕方に深くかかわる写真を読み取ることで、主体的に考えることを促します。

P220→

**クイズ**  
「東京2020オリンピック・パラリンピック」に参加する国や地域の数はどれくらいでしょうか。また、どの州からいちばん多く参加するのでしょうか。

7地方のなかで最もせまいのに、人口が最も集中しているんだね。ほかの地方や外国にも影響をあたえているのではないかな。

**追究するテーマ**  
関東地方の多くの人々の活発な活動は、ほかの地方や外国と、どのようなつながりがあるのでしょうか。

←P.223

## 2 大観ページ

②の末尾で、州・地方の概要を踏まえて、生徒がどのように学習を進めていくか見通しを持てるように、2編2章では先生が主題を提示し、3編3章では生徒が考察の仕方を見出す形で、**追究するテーマ**として問いの例を提示します。

**学習課題**  
東京大都市圏では、過密化にともなうさまざまな課題を克服するために、どのような取り組みを行っているのでしょうか。

**見方・考え方 地域**

関東地方の地域的特色をふまえて、東京大都市圏の変化に着目しましょう。

↑P.230 **見方・考え方をカギにして考えます。**

## 3 主題学習・動態地誌的学習のページ

**見方・考え方を働かせながら考える問い**である**深めよう**は、多くの州・地方で、**主体的**な学び→**対話的**な学び→**深い**学びの順で学習が深まっていく構造になっています。また、各州・各地方の**深めよう**の問いのうちのひとつが単元のまとめである④の**アクティビティ**に繋がっています。

### 深めよう

鉄道網・高速道路網・航空網が東京に集中していることを地図で確認し、なぜ集中しているのか、そこに問題はないかを考えましょう。

↑P.225

**主体的**

### 深めよう

郊外にある衛星都市を1か所選んで人口の推移を調べ、どう変化したのか、なぜ変化したのかを話し合しましょう。

↑P.227

**対話的**

### 深めよう

東京への一極集中にともなう課題の一つ取り上げ、どのように解決すればよいか考えましょう。

↑P.231

**深い**

## 4 ふりかえりページ

④では、**アクティビティ**や**チャレンジ地理**で具体的な課題を自ら調べたり、クラスで議論したりする活動を通して学習を深める主体的・対話的な問いや活動、**シンキングツール**を示しています。①～④の学習を通して、州・地方の地域的特色を確実に捉え、**単元全体で主体的・対話的で深い学び**が実現できます。

### アクティビティ

- P.57 アジアの経済発展をまとめようー表づくりー
- P.81 アフリカのモノカルチャー経済からの自立に向けてーウェビングマップー
- P.105 自然環境に配慮した観光客の誘致ーキャッチフレーズづくりー
- P.115 私たちのまわりの多文化共生を考えようー発見学習・調べ学習ー
- P.177 自然環境を保全しながら観光業を発展させようーダイヤモンドランキングー
- P.191 地域活性化の取り組みを分析しようー関係図づくりー
- P.205 地域の魅力を広めようー施設づくりプロジェクトー

- P.233 東京への一極集中について考えようーディベートー
  - P.247 持続可能な社会をめざしてー地域づくりプランー
  - P.261 環境保全と観光業は両立できるか考えようーPMI表づくりー
- チャレンジ地理**
- P.70-71 ヨーロッパの大国、イギリスのEU離脱問題を考えよう
  - P.94-95 持続可能な社会をつくるために
  - P.151 ハザードマップをより深く知り、使うために
  - P.218-219 工場建設シミュレーションー知多半島のどこに工場を作る？ー

↓P.233

### アクティビティ ▶東京への一極集中について考えようーディベートー

過密化による問題を解決するために東京への一極集中を緩和することについて、ディベートしましょう。

**賛成** 私は都市機能を地方に分散してもいいと思います。交通網も発達しているし、インターネットなどの通信網も整備されているからです。

**反対** 私は反対です。過密化による問題は改善しつつあるし、東京にはいろいろな魅力があるから人々が集まり、活気があるのだと思います。

私も一極集中を緩和するのに賛成です。なぜなら、通勤・通学の混雑が改善して、東京に住む人々にとってプラスになるからです。

都市機能が分散すると効率が悪くなります。東京が世界の大都市と競争していくには、都市機能の集中が必要ではないでしょうか。

この続きを、みなさんと話し合ってみましょう。その際、以下の点に注意するとよいでしょう。

- ① 自分の立場(賛成/反対)を明らかにしてから、理由を説明しましょう。
- ② 賛成/反対の理由に説得力をもたせるために、根拠となる事実をつけ加えましょう。
- ③ 自分の言いたいことばかりを主張するのではなく、相手の主張もしっかりと聞いてから反論しましょう。

P.94→

**地理** 持続可能な社会をつくるために

北アメリカで生まれ出た資源・エネルギーを大量に消費する生活スタイルは、世界各地の人々の生活に影響を与えています。一方で、近年では持続可能な社会づくりの大切さが世界的に意識されるようになってきています。持続可能な社会をつくるためには、以下のようなことへの配慮が必要になります。

① 資源の持続可能な利用 ② 環境の保全 ③ 社会の公正な発展

● 大量生産・大量消費の社会を減らすことはできるか？  
-アメリカの人々の消費生活-

アメリカで生活するAさん、Bさん、Cさんは「アメリカでは、これからの大消費社会を減らすために、自分たちが消費するものを減らす必要がある」と考えています。これからの消費生活は、どのようなものになるか、それぞれが考えてみましょう。

① 大量生産・大量消費の社会を減らすことはできるか？  
② 環境の保全  
③ 社会の公正な発展

① 大量生産・大量消費の社会を減らすことはできるか？  
-アメリカの人々の消費生活-

アメリカで生活するAさん、Bさん、Cさんは「アメリカでは、これからの大消費社会を減らすために、自分たちが消費するものを減らす必要がある」と考えています。これからの消費生活は、どのようなものになるか、それぞれが考えてみましょう。

① 大量生産・大量消費の社会を減らすことはできるか？  
② 環境の保全  
③ 社会の公正な発展

① 大量生産・大量消費の社会を減らすことはできるか？  
-アメリカの人々の消費生活-

アメリカで生活するAさん、Bさん、Cさんは「アメリカでは、これからの大消費社会を減らすために、自分たちが消費するものを減らす必要がある」と考えています。これからの消費生活は、どのようなものになるか、それぞれが考えてみましょう。

① 大量生産・大量消費の社会を減らすことはできるか？  
② 環境の保全  
③ 社会の公正な発展



# 地理のスキルがどんどん身に付く 詳しい解説と実践的な問い

地理的技能や資料活用能力を身に付けるためのコーナーを充実させ、地理的事象について考え、判断し、自分の言葉で表現できるようにしました。

### スキルアップ



地理的技能を右の6種類に整理して、詳しく解説しています。発達段階に応じて、系統的に地理的技能を身に付けることができます。

- 統計資料を活用する ..... P.4, 26, 47, 51, 133, 152
- 地図を活用する ..... P.22, 41, 87, 122, 124, 125, 132, 151
- 写真を活用する ..... P.25, 252
- 地理的なきまりを身につける ..... P.9, 11, 15
- 地域調査の手法を身につける ..... P.121, 126, 128, 129, 130, 134, 135, 136
- 地域のあり方を考える ..... P.264, 268, 272, 273

### 注目!



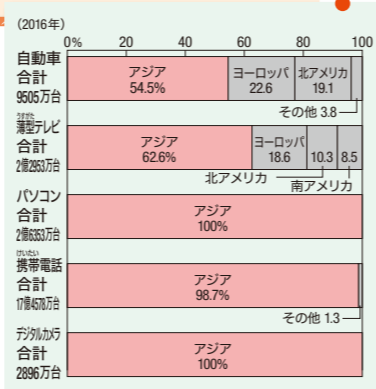
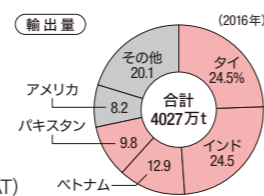
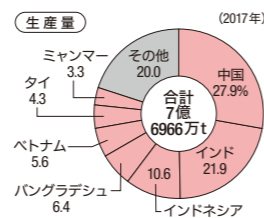
解説とともに、**問い**や**活動**を提示することで、地理的技能を定着させることができます。

### スキルUP

統計資料を活用する③

#### グラフの読み取り方①

円グラフ、帯グラフは、割合を示すグラフです。何の割合を示したグラフなのか、タイトルで確認しましょう。4⑤には、世界の合計量と、国別・州別の割合(%)が書かれています。複数のグラフを比べることで、さまざまな特色を読み取ることができます。4④では、生産量の多い国と輸出量の多い国がちがっています。生産量が多いのに輸出量が少ない国の特色は何でしょうか。



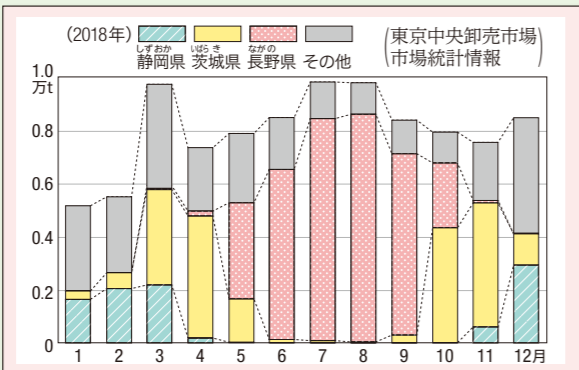
④ 米の国別生産量と輸出量 (FAOSTAT)

⑤ 主な工業製品の州別生産量 (2018年刊 世界国勢図会)

### 資料活用

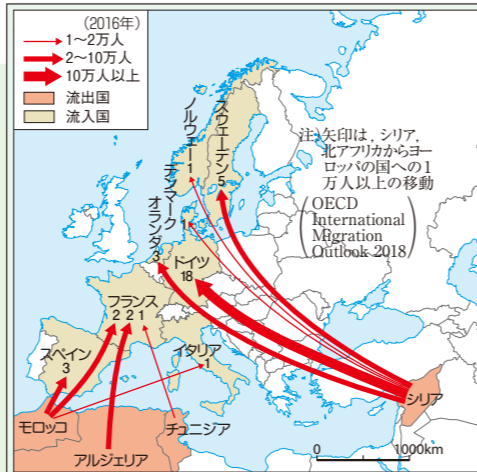


地図やグラフの読み取りのための活動を提案するコーナーを適宜設定しています。



③ 東京中央卸売市場でのレタスの県別入荷量  
資料活用 それぞれの県からの入荷の多い時期と、その県の気候との関連を考えましょう。

P.68→



② ヨーロッパへの外国人労働者の動き  
資料活用 ヨーロッパのどの国に流入する外国人が多いか、計算しましょう。

# 地域的特色の理解がどんどん深まる 多様なコーナーが支える学習

生徒の興味・関心を引き出す地理的なトピックスや現地の人の言葉を紹介したり、作業学習を提案したりすることで、地理的分野の学習を楽しく深めていくことができるよう工夫しました。

### 地理+α



P.195→

見開きの学習内容に関する事項を掘り下げて、学習内容の理解を深めていくことができるコラムを設定しています。

#### 京阪神大都市圏の歴史をみる

近畿地方では、20世紀初めごろから、大阪・京都・神戸の都心部と郊外を結ぶ鉄道が次々とつくられました。鉄道を運行する企業は、都心部のターミナル駅に百貨店を、郊外に住宅地や遊園地、野球場などをつくって、乗客を増やしていきました。その結果、郊外の衛星都市にある住宅地で生活し、鉄道で時間をかけて通勤し、都心部の企業などで働くという生活スタイルが生まれました。この生活スタイルは、関東地方をはじめとする全国の都市部へ広がりました。また、大阪市と神戸市のあいだの阪神間とよばれる地域などには、高級住宅地が広がるようになりました。



④ 日本最大規模の私鉄のターミナル駅 (2019年、大阪市北区/阪急梅田駅)

また、1950年代以降、人口の急増に対応するために、郊外の各地で大規模な住宅地やニュータウンの開発が進められました。大阪府北部の千里ニュータウン、大阪府南部の泉北ニュータウン、兵庫県南部の須磨ニュータウン、奈良県北部の生駒市から奈良市西部にかけての住宅地などが有名です。これらの地域では、開発当時に移り住んだ人々の高齢化が進み、再開発や住宅の建てかえが行われています。



⑤ 日本初の本格的ニュータウンである千里ニュータウン (2019年、大阪府豊中市・吹田市)

は夏の暑さと冬の冷えこみがきびしくなります。北部は、冬に日本海からふく冷たく湿った季節風の影響で、雨や雪が多くなります。南部は、温暖で降水量が多くなります。これは、梅雨から秋にかけて、太平洋からふく湿った季節風や台風の影響を受けるためです。尾鷲の1年間の降水量は、中部の大阪の約3倍に達するほどで、紀伊山地ではしばしば大きな風水害が発生しています。

### 注目!



### トライ

地球儀を回転させて、1 2 3 のように見える方向を探しましょう。

P.2

1編を中心にトライコーナーを設定し、楽しく学習内容を深めていくための作業学習を提案しています。

世界や日本の人々の生活の様子が読み取れる写真とともに、実際にそこに住む人々が生徒に語りかける言葉を紹介しています。

P.29

#### ガットさんの話

毎日のように、森に入って、木によじ登っては、大きな豆をとっています。蚊が多いゴムのプランテーションで働くよりも、涼しくて静かな森ですごくほうが好きですね。自転車で町に出かけて、この豆を売っています。町の人たちと話すのは楽しいです。私は学校に行かなかったから、字の読み書きができないけれど、子どもたちには学校に行っていきたいと思っています。最近、キリスト教徒になりました。



### 声コーナー





# 地域調査学習からまちづくり会議へ 体系的な日本地理学習

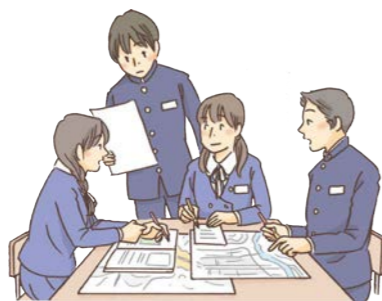
3編では、1章(地域調査の手法)と4章(地域のあり方)で地域調査を実施して調査結果をまとめ、考察、構想までを確実にできるようにしました。また、2章(日本の地域的特色と地域区分)・3章(日本の諸地域)の学習と1章・4章の地域調査学習を結び付けられるよう工夫しました。

3編2章・3章で用いる視点(考察の仕方)

- 1 自然環境
- 2 人口や都市・村落
- 3 産業
- 4 交通・通信
- 5 その他

3編1章・4章での調査班

- 自然と防災班
- 人口と街なみ班
- 資源と産業班
- 交通と観光班
- 伝統と文化班



**注目!**  
事例地域として京都市(伏見区)を取り上げました。修学旅行の事前準備や当日の現地での活動など、京都を訪れる際にも活用できます。

## 3編1章 地域調査の手法

3編2章・3章で用いる視点(考察の仕方)をもとに、五つの調査班に分かれて地域調査を進めます。

- 1 自然環境 … 自然と防災班 は身近な地域の水路や防災について調査を進める
- 4 交通・通信 … 交通と観光班 は身近な地域の交通や観光客について調査を進める

## 3編2章 日本の地域的特色と地域区分

3編1章の調査結果を踏まえて、それらにかかわる事象が日本全体でどうあらわれているかを学習します。

- 1 自然環境 … 日本全体で地震・火山災害や気象災害が発生していることや防災について学ぶ
- 4 交通・通信 … 日本全体で外国人観光客が増えたことや、過密地域では鉄道の混雑や道路の渋滞が深刻化していることを学ぶ

## 3編3章 日本の諸地域

3編1章の調査結果を踏まえて、それらにかかわる事象が日本の各地方でどうあらわれているかを学習します。

- 1 自然環境 … 日本の各地方でも地震・火山災害、気象災害が発生していることや防災について学ぶ
- 4 交通・通信 … 日本の各地方で外国人観光客が増加し、外国人観光客の誘致も行われていることを学ぶ

## 3編4章 地域のあり方

3編2章・3章の学習を踏まえて、日本全体や日本の各地方でみられた課題が調査地域にどうあらわれているかを確認します。そして地域のあり方を考察、構想し、「まちづくり会議」を開いて構想の結果を発信し、社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養います。



**調査の手法**

- 地形図
- 空中写真
- 小学校で学習したこと
- 自然環境
- 人口や都市・村落
- 産業
- 交通・通信
- その他

**調査テーマを決めて調査計画を立てよう**

調べたいことをまとめ、調査テーマを決定する。地形図や空中写真、小学校で学習したことなど、どのあたりにどのような関係があるか、かき出してみよう。これらからP.121「スキルUP」の五つの視点から整理すると、疑問に思ったことや調べたいことのかかりが見えてきます。これらをまとめて関連図をつくり、調査テーマを決定しよう。

**調査計画を立てる**

調査テーマが決まったら、調査によって何を明らかにすればよいか考えよう。かかわりが強いものをまとめ、調査の対象を絞りこむことが大切です。市町村の役所に行ったり、農家や商店の人などに聞き取り調査をしたりすることで、幅広い内容をくわしく調べることができます。調べたいことと調査方法を明確にして、調査計画を立てよう。

調べたいこと	調査方法
水路の歴史、利用方法	文献資料を使った調査(図書館)
野外観察	インターネット
野外観察	三輪車や自転車を使った調査
野外観察	地図を使った調査

↑P.126-127

**まちづくり会議を開こう**

地域の課題について考察したり、解決策について構想したりしたことをもとに、「まちづくり会議」を開きましょう。会議では、みなさんがさまざまな立場の人の役割を演じて、各案の提案を検討しましょう。話し合いを通して、それらの提案を関連づけたり、提案に優先順位をつけたりして、「私たちのまちづくりプラン」をまとめよう。

**まちづくり会議**

会議を終えたら、プランのできばえや話し合いのようすを、みんなでふりかえりましょう。そのために、会議のようすは記録に残しておきましょう。話し合いの結果をもとに「まちづくりプラン」をさらに改善して、学校全体に発表したり、地域の人々に向けて発信したりするとよいでしょう。

調べたいこと	調査方法
伏見区の人口はどのように分布しているか、これからどう変化していくのだろうか。	伏見区の人口は、過去のデータから見てどう変わってきたのだろうか。
人口の多い地区は、過去から現在にかけてどう変わってきたのだろうか。	通商手帳にはどのような歴史があり、これからどう発展させていくのだろうか。
通商手帳にはどのような歴史があり、これからどう発展させていくのだろうか。	新しい商業施設はどこにあるのだろうか。それによって、地域にどんな影響があるのだろうか。
新しい商業施設はどこにあるのだろうか。それによって、地域にどんな影響があるのだろうか。	伝統的な文化はどのように受け継がれているのだろうか。
伝統的な文化はどのように受け継がれているのだろうか。	伝統的な文化はこれからどうなっていくのだろうか。

↓P.272-273



# 知識だけではない災害・防災教育を 豊富な事例と実践的な学び

3編2章(日本の地域的特色と地域区分)では、地震・火山災害、気象災害、防災・減災(自助・共助・公助)について詳しく学習し、それらを踏まえた実践的な学習を提案するページを設けました。また、3編1章(地域調査の手法)・3章(日本の諸地域)・4章(地域のあり方)でも防災・減災に関する教材を充実させるように努めました。

## 地震災害 ・ 火山災害



↓P144

阪神・淡路大震災で倒壊した高速度道路(1995年、神戸市東灘区) これらの地震では、大変な被害が発生したんだね。

東日本大震災で沿岸部をおそった津波(2011年、宮城県岩沼市)

なぜ日本では多くの地震・火山災害が起こるのでしょうか。  
見方・考え方 地域

### 3 地震・火山災害からみた日本の地域的特色と地域区分

地震や津波による災害 自然環境は私たちにさまざまなめぐみをもたらしますが、生命や財産に被害をあたえる自然災害を起こすこともあります。

日本は、環太平洋造山帯にあるため、世界のなかでも地震や津波、火山による自然災害の多い国です。地震は、規模(マグニチュード)

## 気象災害



↓P146

毎年、大雨による災害のニュースを見ることがあるね。

土石流(左:広島県呉市)と洪水(右:岡山県倉敷市) いずれも2018年の西日本豪雨による被害です。6月末から7月上旬にかけて、梅雨前線や台風の影響で、西日本の広い範囲で大雨による災害が発生しました。

なぜ日本ではさまざまな気象災害が起こるのでしょうか。  
見方・考え方 地域

### 4 気象災害からみた日本の地域的特色と地域区分

さまざまな気象災害 日本は、国土が山がちで海岸部の平野に多く人が住んでいるため、大雨や強風などの気象による自然災害(風水害)がひんぱんに発生します。

梅雨や台風による大雨は、毎年のように、全国各地で川のはらんによる洪水、地すべり、がけくずれ、土石流などの風水害を引き起こします。また、台風は、しばしば高潮や強風による災害もたらします。高潮は、海水が、気圧の低下によってすい上げられたり、強風によって沿岸部にふき寄せられたりすることで海面(潮位)が上

## 防災・減災 自助・共助・公助

大雨や大雨など、警報をいかなる現象が予想され、重たいがちじりしく高まった。避難情報(居住地域)、避難準備(警戒レベル1以上)も特別警報に含まれます。

警報 重大な災害が発生するおそれがあるときに発表される。  
注意報 災害が発生するおそれがあるときに発表される。

1 気象庁が発表する防災情報の例 2 日常生活のなかで行う防災対策の例

- どこにどんな地形があるのか、あらかじめ理解しておく。
- 学校、通学路、自宅などの場所から避難所への避難経路を、ふだんから確認しておく。
- 非常用の備蓄食料や懐中電灯・ラジオなどを用意して、定期的に点検しておく。
- 電話やインターネットがつかない場合も想定して、家族がはなればなれになった場合の集合場所を話し合っておく。
- 特別警報・警報・注意報などの防災情報の意味を理解し、どの情報かどのような災害への注意をよびかけているのかをつかんでおく。
- 避難訓練・防災訓練にきちんと参加する。



1週間ぶんの備蓄食料(1人ぶん)の例

災害に対して、私たちはどうやってそなえていけばいいのかな。

多くの自然災害から地域や人々の生命を守るために、私たちはどのようなことに取り組めばよいのでしょうか。  
見方・考え方 人と自然のかかわり

自然災害が起こりやすい日本では、さまざまな防災・減災の取り組みが行われていることに着目しましょう。

- 自助 建物をゆれに強くし、家具がたおれないようにする。
- 共助 いざというときに、どのように連絡を取り合うか相談しておく。
- 公助 自分から進んで防災・減災活動をする。
- 被害者をすぐに助け、地域の安全をみ

### 5 6 災害にそなえるために

防災・減災へのくふう 日本では、明治以降、建設技術の進歩や経済発展とともに、防災対策が進められ、堤防、ダム、防潮堤などが整備されました。また、観測技術の進歩によって、地震、津波、気象などの警報・注意報もより正確になりました。その結果、自然災害の被害は大幅に少なくなりました。

しかし、技術と費用には限界があり、これらの防災対策だけで災害を防ぐことはできません。国・県・市町村などの機関、自主防災組織などの住民組織、家庭・個人が一体となって、被害をできるだけ小さくする減災に取り組んでいく必要があります。

どのように 防災や減災のためには、災害が発生する前に、

## 体系的・実践的な学習が可能です

3編1章 身近な地域の災害・防災についての調査ができます。

3編2章 地震・火山災害、気象災害、防災・減災について、体系的に学習を進めることができます。

- 地震・火山災害からみた日本の地域的特色と地域区分(P.144-145)
- 気象災害からみた日本の地域的特色と地域区分(P.146-147)
- 災害にそなえるために(P.148-149)

自由研究 「釜石の奇跡」はなぜ起こったのか(P.150)

チャレンジ地理 ハザードマップをより深く知り、使うために(P.151)

3編3章 災害・防災に関する各地方の諸課題を学習することができます。

3編4章 日本全体や日本の各地方の災害・防災の学習を踏まえて、調査地域の防災について考察、構想できます。

## 各地方での学習

- 3編3章 P.168-169 自然環境に影響を受ける人々の生活(九州地方)
- P.190 巨大地震にそなえる過疎地域の取り組み(高知県)
- P.230-231 都市問題の解決に向けて(東京大都市圏)
- P.244-245 震災からの復興と災害に強い地域づくり(東北地方)
- P.246 新しいまちづくりをめざして(宮城県東松島市)
- P.247 持続可能な社会をめざして(東北地方)

### ハザードマップをより深く知り、使うために

3編1章のP.152で、ハザードマップの使い方を学習しました。ここでは身近な地域のハザードマップをさらに詳しく読み取って、災害が発生したときの避難について考えましょう。

152の図を参考に、身近な地域の図をハザードマップを入手するか、インターネットでダウンロードしましょう。ここでは、宮城県の「防災ハザードマップ」を例に取り上げます。

153 防災ハザードマップの使い方

1. 地図を見ながらインターネットの「地図検索」を使って、想定される災害の発生が場所によって異なるのかを、確認しましょう。
2. 2. 3. 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17. 18. 19. 20. 21. 22. 23. 24. 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 39. 40. 41. 42. 43. 44. 45. 46. 47. 48. 49. 50. 51. 52. 53. 54. 55. 56. 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 68. 69. 70. 71. 72. 73. 74. 75. 76. 77. 78. 79. 80. 81. 82. 83. 84. 85. 86. 87. 88. 89. 90. 91. 92. 93. 94. 95. 96. 97. 98. 99. 100.

↑P.151 3編2章 チャレンジ地理

## 実践的な学習

●すべての人々のための「京都市災害対策プラン」を立てよう!

### 防災に関する意識度チェック

- やっていますか? 1人1人ができること
- 家族での話し合い
- 防災グッズの用意
- ハザードマップの確認
- 災害時の避難ルートや避難所の確認
- 徒歩での帰宅ルートの確認
- 災害時帰宅支援ステーションマップの確認
- 災害時帰宅支援マップの確認

### 私たちの提案

- 京都市 ▲日本全体
- ▲学校・企業で災害時の徒歩での帰宅方法を考える勉強会を開催しよう。
- 有名な観光地のホームページに観光客緊急避難広場であることを多言語で示そう。
- ▲バリアフリー化が難しい避難所に必要な支援を考え、地域の人々で助け合う準備をしよう。
- ▲駅・インターチェンジなどで、ほかの地域からの避難者への対応を手伝おう。
- 地形的に災害が起こりやすい観光地では、特に早めの避難をよびかけよう。

自然と防災班

↑P.270 3編4章 まちづくりプラン

## 注目!

3編2章では、日本全体でどのような災害がみられるかを学習した後、具体的な活動を通してハザードマップの使い方を身に付けることができます。このような実践的な学習により、生命や安全の確保に主体的に取り組むことができます。